

教員氏名	池田 佐輪子
学位	修士（人間関係学）
専攻（専門分野）	幼児教育、臨床教育、保育、乳児保育
担当科目	保育者論、保育・教職基礎演習（幼稚園）、子ども文化、乳児保育Ⅰ・Ⅱ、在宅保育、保育総合表現、保育所実習指導Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ、保育所実習Ⅰ・Ⅱ
研究テーマ	愛着構築に課題をもつ子どもと保護者の支援（就学支援）
所属学会・団体等	保育学会
<p>最近の業績（研究業績）＊過去3年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学術論文 〔共著〕保育所における子どもの愛着形成の理解と支援（2019）池田佐輪子・楠凡之、北九州市立大学文学部紀要第26巻1号pp1-22 〔共著〕保育所における子どもの愛着形成の理解と支援 その2（2020）池田佐輪子・楠凡之、北九州市立大学文学部紀要第27巻1号pp13-34 〔共著〕保育所における子どもの愛着形成の理解と支援 その3（2021）池田佐輪子・楠凡之、北九州市立大学文学部紀要第28巻1号pp17-39 	
<p>教育業績＊過去3年 原則的に担当科目に関するもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「保育者論」では、入学直後の学生がもつ望ましい保育者のイメージを基本に、テキストを用いた解説に加え、他者の意見を聞くことによってより望ましい保育者像を構築することを目指している。保育現場での経験を活かし、守秘義務に配慮した事例を具体的に解説することで学生の理解を深め、授業後半で、改めて「望ましい保育者像」について課題を出し、授業前半での内容と検討しながら授業での学びを振り返る機会を作って、それぞれ自分の学びを実感できるようにしている。 ・「こども文化」では、「遊び」が子どもの健全な心身の発達を促すことを解説したうえで、実際に保育科資料室等にある子ども文化財を使って遊び方を体験し、お互いに発表し合うことで保育教材の必要性が理解できるように配慮している。また、保育士としての現場経験に基づく子どもの姿を具体的に伝えながら、学生に教材作成、発表を経験させ、自信をもって現場での実習に臨めるようにしている。認定絵本士養成講座の授業であり、特に絵本についての説明や読み聞かせの方法などを実際に見せながらの指導も重視している。 ・講義形式の「乳児保育Ⅰ」で、保育現場での経験を具体的に解説しながら乳児の特性や関わり方の配慮事項などについて理解を促している。さらに「乳児保育Ⅱ」では、保育現場で実際に活用できる遊びや関わり方について、学生同士で意見交換する実践的な演習を行い、アクティブ・ラーニングを取り入れて理解が深まるように配慮している。各年齢の保育指導計画を立案して検討することで、保育の理解を深めると共に、部分実習に落ち着いて臨めるようにしている。 ・「保育実習指導Ⅰ」では、保育現場での経験を活かし、事前に準備する教材や子どもと関わるときの心構えなどについて分かりやすく具体的に説明して自己の課題を設定させ、実習に送り出している。「保育実習指導Ⅱ」ではまず、Ⅰでの実習を自己の課題をもとに振り返ることで、Ⅱでの実習に向けた新たな課題の視点が持てるように指導している。新たな課題を設定してⅡでの実習を行い、往還的な学びの効果が上がるように配慮している。 ・「保育総合表現」では、それぞれ専門分野の教員と連携しながら、保育現場において各年齢の発達段階に応じた演技を子どもたちと作り上げていくことで、子どもが成長を実感し、達成感や満足感を味わえることを目指して、まずは学生自身がこれまで学んできた音楽、体育、造形などの知識や技術を使って計画を立て、発表会を想定して指導をしている。 ・「保育・教職実践演習（幼稚園）」では、それぞれの学生が実習を経験した後に、さらに学生同士で模擬保育を行って様々な視点から意見を出し合って検討することで、より学びが深まるように指導している。保育の課題を見つけて検討することも学びであるが、他者の良い面を見つけて認め合うことで、保育に対する自信や肯定感がもてるように心掛けている。 ・「在宅保育」では、集団保育が困難な状況の子どもと保護者に対して、置かれた状況や子どもの特性を理解して、子どもの発達保障、保護者の子育て支援を行うことが重要であることを解説したうえで、集団保育とは異なる1対1保育の必要性やその効果などを実感できるように、具体的な関わり方や遊び方についての説明を心掛けている。 	

- ・「こども学基礎演習」では、まず保育の楽しさや子どもと関わることの喜びが実感できるよう、学生の主体性を考慮しながら、様々な活動の提案をしている。特に認定絵本土養成講座でのおはなし会は、学生の絵本に対する興味・関心の深化と、知識・技術の向上につながるよう指導を工夫している。
- ・「こども学特別演習」では、「こども学基礎演習」での学びを基礎として、より学生の自主性を尊重した活動を計画し、可能な限り学外での活動に参加して実際に子どもと関わることで経験を積んでいけるように配慮している。

実務業績*過去3年 原則的に担当科目に関するもの

- ・コラボラキャンパスネットワーク親子ふれあいルーム実行委員会（北九州子育て親育ちエンパワメントセンターBee）（2009年4月～現在に至る）（現在はオブザーバー）。
- ・特別非営利活動法人チャイルドライン北九州 理事（2008年4月～現在に至る）
- ・NPO 法人あゆみの森共同保育園 苦情解決体制における第三者委員（2018年度9月～現在に至る）
- ・北九州市社会福祉協議会 幼児教育研修【保育士等キャリアアップ研修分野②幼児教育】講師（2021年～現在に至る）年1回
- ・教員免許状更新講習 講師 （2019年度～現在に至る）年1回
- ・高校進路ガイダンス（保育に関する模擬授業）等（2018年度～現在に至る）
- ・北九州市市民カレッジ講師（2020年度～現在に至る）年1回
- ・地域支援室公開講座 【中高生のための絵本講座】講師（2022年度）年2回のうち1回
- ・島郷市民センター「島郷文化大学」講師（2022年度）年1回